

令和3年7月29日  
筑波大学

## 令和5年度及び令和6年度一般選抜における 調査書を用いた主体性等評価の見送りについて

筑波大学では、令和3年度一般選抜から、一部の学類等において、調査書を利用し「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、主体性等という。）」を評価することを予告していました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響が高等学校等における通常の学習や活動に広く及び、本学が予告した内容に基づいて志願者の調査書を適切に評価することは困難であることから、令和3年度及び令和4年度一般選抜における調査書を用いた主体性等評価を見送りました。

令和5年度及び令和6年度入試においても、以下のとおり変更することになりましたので、お知らせします。

### 1. 変更点

令和5年度及び令和6年度一般選抜（個別学力検査等前期日程及び後期日程）における調査書を用いた主体性等評価を見送ります。（調査書の点数化はしません。）このため、調査書の配点を除いた総点で選抜します。

### 2. 変更理由

本学では、調査書を用いた主体性等評価において「通常の学びを重視する」ことを評価方針としていましたが、その通常の学習や活動が制限される状況が今なお続いています。昨年著しく活動が制限された現在の高校2年生が受験生となる令和5年度だけでなく、現在の高校1年生が受験生となる令和6年度においても影響が残ることが懸念されるため、令和5年度及び令和6年度一般選抜での導入は難しいと判断しました。

### 3. 令和7年度一般選抜以降の対応

本学では、高校教育における学びの成果や姿勢を多面的に評価することは必要と考えています。令和7年度入学者選抜から、新学習指導要領で学んだ高校生が受験し、調査書の様式が変わる予定となっています。令和7年度以降の主体性等の評価方法については、本学のアドミッション・ポリシー等を踏まえて引き続き検討いたします。

4. (参考) 令和 5 年度及び令和 6 年度一般選抜において調査書を用いた主体性等評価を予定していた学類等

前期日程 (総合選抜)	文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲ
前期日程 (学類・専門学群選抜)	人文・文化学群 (人文学類、比較文化学類) 社会・国際学群 (社会学類、国際総合学類) 生命環境学群 (生物学類、生物資源学類、地球学類) 理工学群 (数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類) 情報学群 (情報科学類、情報メディア創成学類) 医学群 (看護学類) 体育専門学群
後期日程	理工学群 (物理学類、社会工学類)